



杉村 和朗 男女共同参画担当理事が着任しました

このたび、男女共同参画担当理事となった杉村和朗です。臨床医学を専攻しており、がんの診断や治療を行う放射線医学が専門です。1988年に、赴任していた島根医科大学からサンフランシスコに留学する機会がありました。到着後暫くして街中の電柱や窓に、レインボーフラッグが飾られているのに気づきました。とてもお洒落なので、大学の秘書に聞くと、週末にゲイのパレードがあるので、彼も参加するとのことでした。30年も前のことですので、日本ではカミングアウトする人もほとんどなかった時代です。パレードには全米から多くの関係者、支持する人たち、観光客が集まり、大変明るく盛況で、その



光景は今でも心に強く残っています。いつも親切で気配りが際立っていた秘書は、残念ながら早逝しました。大学内には他にも多数の、当時は耳にしたことのないLGBTの方がおられました。また、私のSupervisorはクロアチアの大学を出てから単身アメリカに渡り、数年でカリフォルニア大学のフルプロフェッサーとなった極めて優秀な女性でした。その後世界のがんセンターでトップ3と言われる、Sloan Kettering Cancer Centerのチェアとして、70歳をすぎた今も、世界のがん医療を牽引されています。

私のように、このように様々な人と交流できる機会が与えられる幸運な人は少ないでしょう。経験できないことを、教育によって実際の経験を超える実績を上げることは、教育の醍醐味であり大学の大きなミッションだと思います。アレキサンダー教授をはじめ、男女共同参画推進室の教員、職員と共に、神戸大学を通じてダイバーシティを誇りにするインクルーシブな社会形成に役立っていきたく願っています。前任の内田理事の時に、文科省科学技術人材育成費補助事業を獲得していますが、運営を軌道に乗せる事に加えて、補助金終了後の継続を目指して、事業の発展と継続についても、努力して参ります。皆様のご支援が欠かせませんので、どうぞ宜しくお願い致します。

ロニー・アレキサンダー男女共同参画推進室長ごあいさつ

最近、「ダイバーシティ」という言葉はしばしば耳にしますが、それが神戸大学において、どのような意味を持っているのでしょうか。女性研究者の採用や昇進の促進、大学幹部に女性の増加に加えて、あらゆる文化や属性、アイデンティティを持つ人たちがお互いを尊重し合い、共働き、共に笑ったり泣いたりできるインクルーシブな環境というのがダイバーシティの本当の意味です。そのような環境では、一人ひとりが自らの力を発揮でき、新しいものが生まれることが期待できます。神戸大学ダイバーシティ推進宣言(2018.12)、ダイバーシティ担当の学長補佐(男女共同参画推進室長が兼ねる・2019.2.1より)をはじめ、ダイバーシティを実現するための取り組みが始まっていますが、一人ひとりの積極的な参加が必要です。全国のお手本となるような「ダイバーシティ豊かなキャンパス」の創造が室長としての目標です。ご一緒にお願いいたします！

2018 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシャティブ（先端型）事業に採択されました

神戸大学は 2018 年度先端型事業に採択されました（3 機関；事業期間 6 年間）。主に女性研究者の海外派遣や人事交流を通じて、女性研究者の採用・昇任を促すことを目的として、以下に示す 4 つの目標と 6 つの取組を実施します。最終年度の数値目標は、①採用比率 33%、②在籍比率 22%、③昇任比率 20%、以上を目指しています。また、ダイバーシティ環境の充実と学外への波及を図るためにダイバーシティ共創パートナーの企業等と連携し、ダイバーシティ基金を設立して、事業の継続性を担保します。

	1) 採用比率 30%以上の 恒常的達成	2) 上位職登用 比率(昇任比 率)の向上	3) 次世代を担う 若手研究者 の裾野拡大	4) ダイバーシティ 環境の充実と 学外への波及
(A) 新しい人事ガバナンスシステムの構築	◎	○		
(B) 国際共同研究PI養成プログラムの実施		◎		
(C) 国際人事交流プログラムの実施			◎	
(D) 国際共同若手研究者養成プログラムの実施			◎	
(E) ダイバーシティ推進機構の設置				◎
(F) ダイバーシティ基金の設置・ダイバーシティ共創ネットワークの構築	○	○	○	◎



詳細については
男女共同参画推進室
HP トップページ内
ピンク色の本事業
アイコンからもご覧
いただけます。

2018 年度本事業に採用された研究者数

国際共同研究PI養成プログラム	3人	
国際人事交流プログラム	事前調査	8人
	派遣	4人
	招聘	24人
国際共同若手研究養成プログラム	5人	

本事業に
計 44 人の研究者が
採用されました！

※人数に重複あり

ダイバーシティフォーラムキックオフシンポジウムを開催

2019 年 3 月 27 日、ANA クラウンプラザホテル神戸で「神戸大学 ダイバーシティフォーラム キックオフシンポジウム」を開催しました。

本シンポジウムは、文部科学省による科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に本学が採択されたことを受け、その事業のスタートとして企画したもので、大学・企業関係者など約 100 名が参加しました。

まず、武田廣学長、楠目聖氏（科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室長）から挨拶があり、続いて内田一徳男女共同参画担当理事が事業説明を行いました。

その後、3 名の講演者、Saniye Gülser Corat 氏、板東 久美子氏、宮野 寛子氏により講演が行われました。今回のシンポジウムを契機に本事業がさらに推進されることが期待されます。

「神戸大学ダイバーシティ推進宣言」が策定されました

神戸大学ダイバーシティ推進宣言

神戸大学は、「学問の発展、人類の幸福、地球環境の安全及び世界の平和に貢献すること」を目指し、21世紀の世界が直面する様々な問題に対応できる人材を育成しています。しかしながら、これらの問題を克服するには多様な経験や視点から生まれる洞察力だけでなく、未知のものと出会う刺激から生まれる新しい「知」の創造が必要です。

そこで、神戸大学は、2007年より推進している男女共同参画に加えて、ダイバーシティ（多様性）を推進し、ジェンダー・性的指向・性自認、エスニシティ、文化、宗教、言語、出自、年齢、学歴、心身の特徴などの属性や特性にかかわらず人間として尊重し、それぞれの個性や能力を発揮できる学習・教育・研究・就労環境を整備します。

このようなダイバーシティの推進は、ときに軋轢や対立などを生じます。しかし、神戸大学の全構成員は、それらの衝突を恐れずに、多様性を尊重し、個性が輝くキャンパスを実現します。そのことを通じて創造できる「知」は、神戸から世界へと新しい地平を切り拓くことを確信し、ここに神戸大学はダイバーシティの推進を宣言します。

神戸大学長

(2018年12月13日)

★本宣言は、神戸大学 HP「取組・計画」下及び推進室 <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/> にも記載があります。

ユネスコチェア・サマープログラムを実施します

今年度の本プログラムは、ガジャマダ大学(インドネシア)にて8月18日～31日の日程で開催されます。異なる学問分野を背景にもつ、他大学の学生（ガジャマダ大学、高雄科技大学、トゥンク・アブドゥール・



昨年度の様子

ラーマン大学)と協働で行われるプログラム(ジェンダーや脆弱性の視点から災害を検討することをテーマとする講義、ディスカッション、視察、実習、ワークショップ)を通じて、学生の批判的思考力、実践力、国際協働力を育成するとともに、優れたコミュニケーション能力、リーダーシップ能力の養成を目指します。※今年度の募集は終了しています。

詳細については、男女共同参画推進室 HP トップのユネスコチェア青色アイコンからご参照ください。

2019年「小学生のためのサマースクール」開催のお知らせ

神戸大学で働く教職員の方のお子さん(小学生)を対象にしたサマースクールを2019年度も実施します。8月2日(金)、5日(月)の2日間で開催します。募集等の詳細が決まりましたらまたHPでご連絡します。



昨年度の様子

男女共同参画推進室 HP <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/>